

事業所名	熊本こすもす園共同援助事業所（グループホーム）		
開催日時	令和7年11月11日（火）13:30～16:00		
開催場所	グループホームさざんか 食堂		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	5	管理者、サービス管理責任者2名、課長、相談員
	入居者	1	
	入居者ご家族	1	
	地域の関係者	2	区長・民生委員児童委員
	福祉・経営に知見を有する方	1	病院 MSW
市町村担当職員	1	市障がい福祉課職員	
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 管理者挨拶</p> <p>3. 出席者紹介</p> <p>4. 会議内容・事業所についての説明</p> <p>（1） 地域連携推進会議の目的と熊本こすもす園の紹介</p> <p>（2） グループホームの概要とグループホームの利用状況・現状</p> <p>（3） 権利擁護・虐待防止について</p> <p>（4） 事業報告・課題</p> <p>5. 施設見学</p> <p>6. 意見交換・全体の質疑応答</p> <p>7. 閉会</p> <p>（1）～（3）略</p> <p>（4）の会議内容についての質疑応答</p> <p>質問1：BCP計画は、8月の豪雨の際は、発動されましたか？</p> <p>回答1：8月の豪雨の際は、事前に雨がひどくなるとの予報でしたが、施設として検討した結果、発動はしませんでした。しかし、安否確認や安全確認については行い、出勤できない職員もいたので、夜勤明けの職員に昼まで残ってもらうような対応をしました。実際に冠水した場所もなかったです。</p> <p>質問2：虐待防止セルフチェックを行っていると言っていたが、家族への開示などはあるのか？また、利用者へのアンケートなどは取っているのか？</p> <p>回答2：現在家族への開示は行っていませんが、希望があればお見せできます。利用者の方へも年に1回嗜好調査と合わせて虐待に関するアンケートも実施しています。今後、家族へのアンケートや開示方法を検討して、公開できるように整備していきます。</p>		

協議内容・  
意見等

#### (5) 施設訪問時の感想

・見学させていただいて、どのホームもきれいに整っていて、利用者さんが穏やかに過ごしておられる様子がよく分かりました。職員の皆さんも声をかけながら丁寧に支援されていて、安心しました。兄もお世話になっていますが、本当にありがたいと思っています。これからも、地域の方と関わりながら暮らせる環境を続けていただけたらと思います。

・地域の一員として、こうして実際に見せていただくのは初めてでした。住宅地の中にあっても静かで、近隣の方との関係も良好に保たれている印象を受けました。こうした施設が地域にあることで、住民も“障がいのある方が一緒に暮らしている”という意識が自然と根づいていくと思います。今後も地域行事などで顔を合わせる機会が増えればいいですね。

・皆さんが本当に落ち着いて生活されていて安心しました。外から見るだけでは分からない日常の工夫がたくさんあって、職員さんの支えの細やかさを感じました。地域の中でも、もっと理解を広げていけたらと思います。こちらからも声をかけたり、行事に誘ったりするなど、できることを考えていきたいです。

・実際に現場を見ると、病院の立場からも学ぶことが多かったです。利用者さんの“生活の場”としての支援は、医療とはまた違う温かさがありますね。これから地域医療と福祉がどう連携していけるかを考えるうえで、とても貴重な時間でした。ありがとうございました。

・地域で支えるというのは、まさに今日の会議のような場を積み重ねていくことだと思います。行政としても、施設と地域、関係機関をつなぐ“ハブ”のような役割を意識していきたいです。今後も、皆さんの声を行政施策に生かしていけるよう努めてまいります。

#### (6) 意見交換・全体の質疑応答

質問1：世話人への教育はどのようにしているのか？

回答1：全体としては、世話人研修会を年に1回実施しており、その際虐待防止の研修も行っています。また、中途採用の方もおられるので、その方には面談と合わせて、虐待防止研修なども行っています。

質問2：宇城市では、65歳で介護移行を進めて行っているが、施設ではどのような対応をしているか？

回答2：施設では、65歳になってすぐに介護の申請はしていません。あくまで、本人の希望、状態に合わせて利用者や家族の方へ確認をして介護の認定調査などを実施しています。ですが、今後高齢者も増えていくので、対応について検討が必要と思います。